

# 学校便り



令和4年7月20日  
富山県立しらとり支援学校

## 暑さの中での安全・安心な学校生活

教頭 野尻 智之

6月末から暑い日が続いています。学校では毎日気温と熱中症予防運動指数を測り、体育など体を動かす活動については、運動する場所や内容を考えながら活動を行っています。体育館やホールだけでなく、教室や廊下など涼しい環境で体を動かせる場所を使用しながら、その中でも無理なくできる運動を工夫して行っています。十分距離を取り換気を行える場所での活動の際にはマスクを外してもよいことを伝えて活動していますが、中には新型コロナウイルスの感染を気にしてマスクを外したくない児童生徒もいます。特に、最近は富山でも新型コロナウイルス感染者が増加傾向にありますので、夏休みを迎えるにあたり新型コロナウイルス感染症対策についても防止対策を怠ることがないように注意喚起していきたいと思えます。新型コロナウイルスと熱中症、どちらにも気を付けながら安全・安心な夏休みを送れるよう、ご家庭でもご協力いただければ幸いです。

児童生徒の皆さんは、これから夏休みに入りますが、夏休み中は楽しいことも多い反面、危険なこともあります。暑さによる熱中症や海や川などでの事故、夏風邪などの病気にかかることもあります。夏休みを充実した思い出に残る時間にするためにも、十分注意して過ごしていただければと思います。また、楽しく時間を過ごすことも大切ですが、ご家庭の中でお手伝いをしたり、目標をもって過ごしたりすることも大事なことだと思います。ぜひ、保護者の皆様もお子さんの夏休みの取り組みを応援していただければと思います。学校でも、まだ試行段階で希望者のみではありますが、タブレット端末の家庭での使用をスタートし、ご家庭でもタブレット端末を使って学習や運動に取り組めるように考えました。ぜひ、こちらも活用していただき、夏休みの計画の一つに入れていただければと思います。今年の夏休みも充実したものになることを祈っております。



### — 夏季休業中の行事予定 —

- 7月25日(月) 家庭訪問(小1、中1・高1外部からの入学生、転入生のみ ~29日(金))  
同窓生と親の会説明会(高3)  
進路学習会(高3)
- 8月11日(木) 山の日
- 8月12日(金) ~16日(火) 学校閉庁日(本校)
- 8月23日(火) 高等部体験入学
- 8月24日(水) 中学部体験入学
- 8月25日(木) 小学部体験入学
- 8月26日(金) 全校登校日(下校バス 11:20学校発)  
学年懇談会(中3)
- 9月1日(木) 始業式 通常日課 給食開始

### — 寄宿舍からのお知らせ —

2学期は、9月1日(木)より開舎となります。  
荷物の搬入については、8月31日(水)の9時から16時及び9月1日(木)にお願いします。  
※ご都合の悪い場合はお知らせ下さい。



## 小学部 野外活動（5・6年）

7月12日（火）に、呉羽青少年自然の家へバスに乗って行ってきました。雨の晴れ間に、楽しみにしていた野外での活動に取り組むことができました。

### （5年）

午前中は緑の森の中をハイキングしました。道中、竹ジャングルを渡ったり、クイズに答えたりしながら進みました。午後は木のキーホルダー作りをしました。どの子どもも真剣な顔つきで、思いを込めた作品に仕上げました。



### （6年）

午前中は、ザリガニ釣りといかだ乗り、午後は、木の実を使った置き物作りをしました。餌を食べたら逃げてしまうザリガニに悪戦苦闘したり、ぐらぐら揺れるいかだに恐る恐る乗り込んだりしながらも、とても楽しく活動し、たくさんの思い出ができました。

## 高等部 野外活動（1年）

高等部1学年は、7月12日（火）に立山青少年自然の家で野外活動を行いました。事前学習で調べた立山の自然について所員の方に質問したあと、実際に外に出てポイント探しの活動をしながら雄大な立山の自然に触れることができました。

また、日ごろから「時計を見て行動する」「自分から行動する」などを意識して学校生活に取り組んできたことで、入所式や退所式、昼食の準備や片付けなどの場面で、生徒が自分たちで声を掛け合って主体的に行動する姿がたくさん見られました。

ある生徒が学校に戻ってから「いい1日だった。」とつぶやいていたように、充実した1日を過ごすことができました。



### いじめの認知件数について

7月14日に、いじめ等対策委員会を開き、各学部からいじめの未然防止についての取組状況やいじめの認知についての報告があり、検討を行いました。7月までのいじめの件数は0件でしたが、友達との関わりの中で気になる言動が見られ、指導や環境設定の配慮等を行っているケースがありました。今後も子供たちが適切な人間関係を築いていけるように配慮するとともに、一人一人の子供たちの気持ちを受け止めて継続的な指導・支援を行い、変化等を見逃さず、いじめの未然防止に取り組んでいきますので、ご理解とご協力をお願いします。